

051535



非接触検温計&オートディスペンサー (アルコール消毒液用)

※本製品は医療用の体温計ではありません。

取扱説明書

MADE IN CHINA
B041242
教育用 K0321B

株式会社 **アーテック**
お客様相談窓口
TEL 072-990-5656

ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みになり、
大切に保管してください。

安全に関する注意事項

この取扱説明書では、警告内容を次のように規定しています。

警告 :その事象を避けなければ、軽傷または中程度の障害を負う可能性のある場合、および物的障害の可能性のある場合に用いています。

注意 :製品を正しくご使用いただくための情報を記載しております。

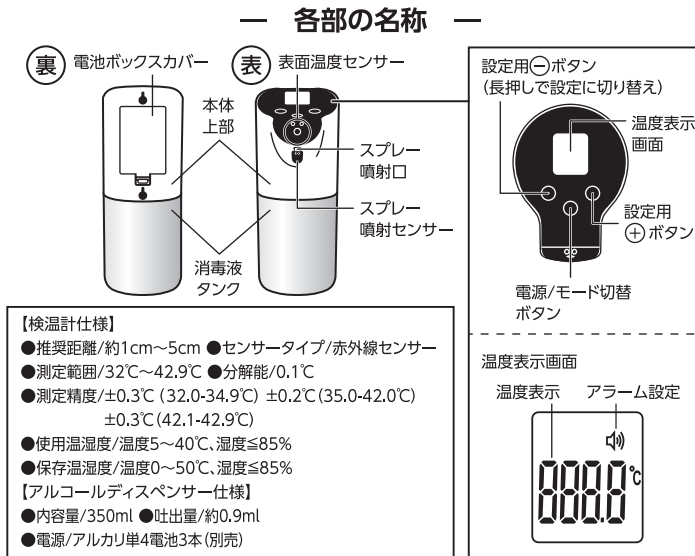
- 警告**
- 火気の近くで使用しないでください。
 - 引火性のあるガス、液体、粉塵などの漂うところなど危険領域で使用しないでください。

- 注意**
- 本品はアルコール消毒液用のディスペンサーです。故障の原因になりますので、液体石鹸など、他の用途では使用しないでください。
 - アルコール消毒液は別売です。
 - ジェル状の消毒液は使用しないでください。
 - アルコール消毒液の取り扱いについては、使用する消毒液の注意事項に従ってください。
 - 凸凹や傾斜の無い平面に設置してください。
 - 結露が生じる場所で使用しないでください。
 - 直射日光の当たる場所、高温になる場所では使用しないでください。
 - 長時間使用しない場合は、漏洩による故障を防ぐため、電池を取外して保管してください。
 - 耐水性はありませんので、本製品に水分をこぼさないでください。本製品内部が濡れると故障の原因となります。

電池使用品に関する注意

電池を誤って使用すると、発熱・破裂・液漏れなどの恐れがあります。
下記の注意を守って正しくご使用ください。

- 古い電池と新しい電池、いろいろな電池を混ぜて使用しないでください。
- +- (プラス・マイナス) を正しくセットしてください。
- ショートさせたり、充電、分解、火の中に入れるなどしないでください。
- 充電電池は使用しないでください。
- 誤って飲み込むのを防ぐため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
- 万一、電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い、医師の診断を受けてください。
- 皮膚や衣類に付いたときは、水でよく洗ってください。
- 電池交換は大人が行ってください。
- 長期間使用しない時は本体から電池を取り外しておいてください。

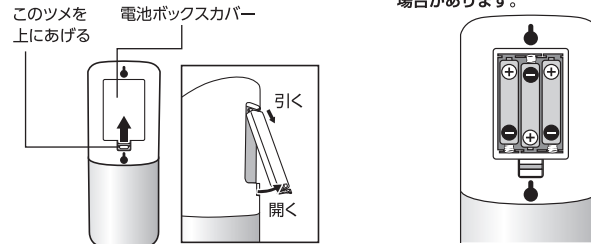


乾電池の挿入方法

本体裏側の電池ボックスカバーのツメを上を押して下側を開き、上側のツメを下側に引いてカバーを開ける。

電池の向きを間違えないように注意し、電池を入れカバーを閉じる。

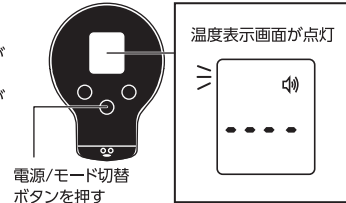
※誤った向きで入れると故障の原因になる場合があります。



使用方法

【電源のON/OFF】

「電源/モード切替ボタン」を1回押すと電源がON。「温度表示画面」が点灯します。
「電源/モード切替ボタン」を長押しで電源がOFF。「温度表示画面」が消灯します。



【検温の仕方】

「表面温度センサー」に手をかざす(推奨距離約1~5cm)と「温度表示画面」に検知した温度を表示します。37.4℃以下であればピッと音が鳴り、画面が緑色に点灯して検知した温度を表示します。
37.5℃~37.9℃の時はピッと音が鳴り、画面が黄色に点灯して検知した温度を表示します。
38.0℃以上の時はピッピッピッと音が鳴り、画面が赤色に点灯して検知した温度を表示します。
(上記温度表示は初期設定の場合です)
※音や温度表示等の詳しい設定は「設定の仕方」をご覧ください。



※赤外線を吸収または遮断するものがあると結果に影響があります(ほこり、水蒸気等)。

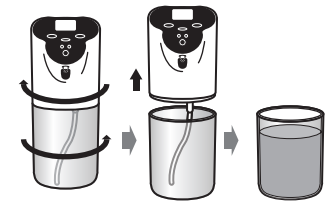
【オートディスペンサーの使い方】

「スプレー噴射センサー」から約4cm以内に手をかざすと、消毒液を噴射します。



【消毒液の入れ方】

本体上部と消毒液タンクをひねってタンクを取り外します。
タンクに消毒液を入れて元に戻します。
※消毒液をタンクいっぱいに入れると本体に戻す際に液漏れしますので、タンクの8割程度までにご覧ください。
※アルコール液は別売です。ジェル状の消毒液は使用しないでください。



【お手入れ方法】

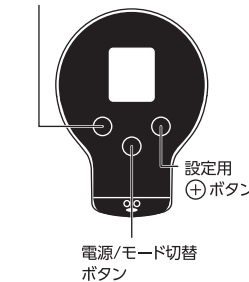
本体のお手入れは柔らかい布等で拭きください。
※シンナーやアルコール類は使用しないでください。
タンク内の洗浄は、水を入れてよくすすいでください。
※本体が濡れないようご注意ください。

設定の仕方

電源を投入後、「設定用(⊖)ボタン」を長押し(3秒程度)すると設定モードになります。「電源/モード切替ボタン」を押すごとに設定モードがF1→F2→F3と切り替わります。

- F1 : アラーム温度の設定 (初期設定38.0℃)
アラームを鳴らす温度の下限値を「設定用(⊕)⊖ボタン」を使って設定します。(設定範囲37℃~42.9℃)
- F2 : 温度補正 (初期設定0.0℃)
表示温度の誤差を「設定用(⊕)⊖ボタン」を使って補正することができます。
- F3 : アラーム設定 (初期設定ON)
ブザーによるアラームのON/OFFを「設定用(⊕)⊖ボタン」を使って切り替えることができます。

設定用(⊖)ボタン
(長押しで設定に切り替え)



液晶の色について

- 緑色: 37.4℃以下
- 黄色: 37.5℃~アラーム温度の設定-0.1℃
- 赤色: アラーム温度の設定以上(初期設定38.0℃)

※アラーム温度を37.5℃以下に設定した場合、黄色は表示されません。

エラー表示について

- HI表示: 42.9℃を超えた場合に表示されます。
- Lo表示: 32.0℃を下回った場合に表示されます。